



## 園 だ よ り

令和7年 1月号 認定こども園 長者幼稚園

Tel 45-1941 fax 45-1943

ホームページ<http://choja-youchien.com/>



2025/1/27発行

# 3学期が始まりました ～ 大器晩成を信じて ～



園長 田 村 元

3学期が始まりました。冬休みを楽しく過ごしてきたのでしょうか。どの子どもひとまわり大きくなったように感じます。まだまだ寒い日が続いていますが、春を呼ぶ『えんぶり』がまもなく始まり、園庭の木々の冬芽も春の到来を待ち望んでいます。厳しい寒さの中にも日一日と春の訪れが感じられるようになりました。3学期もこども達の安全・健康を第一に、生き生きとした幼稚園、保護者ご家族の皆様とお子様の成長を育む園づくりを進めてまいります。

さて、3月にはいよいよ卒園や進級を迎えることとなりますが、この一年間で「たくましい子」「思いやりのある子」に照らして、こども達はどのくらい成長できたでしょうか。中には、うちの子は可愛いけれど、残念ながら園長が言うようには育っていない、大丈夫かなあと感じている方もいるかもしれません。今回は、「大器晩成」という言葉を紹介したいと思います。大器晩成とは『鐘や鼎（かね）のような大きな器物は早く作り上げることができない。同じように、人間でも、大人物はやすやすと完成するものではなく時間がかかる』という意味の言葉です。科学者・随筆家である寺田寅彦氏は「科学者のあたま」という随筆に『いわゆる頭のいい人は、いわば脚の速い旅人のようなものである。人より先のまだ行かない所へ行き着くことができるかわりに途中の道程、あるいはちょっとした脇道にある肝心なものを見落とすおそれがある』という言葉を残しています。これは幼児教育にもあてはまることです。私たち大人のこどもへの言動を振り返ってみると、とかく、「早くおいで」、「早く食べて」、「早くお片付けをしなさい」と「早く、速く」と言いたくなる場所があるのではないのでしょうか。人には、それぞれ個性、特性、持ち味があります。その子にはその子なりの可能性があり、育ちがあります。一つ一つ発達の段階を確実に上ってこそ大きく豊かな成長が期待でき、たくましさや思いやり、美しさを感じる心、命の大切さに気付くことなどの心が生まれてくるものだとして『大器晩成』という言葉が教えています。



私たち職員一同、今後も子どもたちの個性を重視した教育・保育を着実にを行い、一人一人が大きく立派な『器（うつわ）』となる日を楽しみに日々育てていきたいと思っております。



もちつきべったんこ



べったんべったん



おたんじょうかい



長者小吹奏楽演奏会